

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2021年(令和3年)4月1日 会報 第116号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

【AAC21】ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net

【カンボジア事務所】Steet396,Sangkat Boeng Keng Kong3,
Khan Chomkamon, Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 [カンボジア支援](#)

【公式ブログ】 [メコンの風に吹かれて](#)

創立20周年記念祝賀会を開催

本会は2000年1月に創立、昨年1月に20周年の節目を迎えた。これを記念して12月12日(土)、午後1時～3時半、東京・新宿の「京王プラザホテル」(42F 高尾)に於いて「創立20周年記念祝賀会」を開催した。当初4月に記念祝賀会を計画したものの、新型コロナウイルス感染防止の緊急事態宣言の網にかり6月に延期、しかし感染拡大の波が収まらず、さらに半年延期して12月12日、ようやく開催することができた。

当初は約51名の会員から出席連絡を頂戴していたが、12月に入り急拡大した新型コロナウイルスの感染を避ける方が多く、当日の出席は32名にとどまった。

しかしそれでも、秋田県、岩手県、奈良県、兵庫県、愛知県など遠方からも駆けつけて創立20周年を祝ってくれ、久々にお会いした旧知の仲間と再会して旧交を温めるなど、有意義な一日を過ごすことができた。

ホテル側も感染防止対策に惜しみなく協力してくれた。60名定員の広い会場を提供してくれ、10人使用のテーブルを5～6人で使用、料理もバイキング式をやめて各テーブルに運んでくれるなど、感染防止に配慮してくれた。

祝賀会終了後、会場に近いファミレスに於いて2次会を開き、昔話に花が咲いた。

2度も延期し3度目の正直で開催、コロナに翻弄された2020年を象徴する祝賀会だったが、無事終わって胸をなでおろすとともに、次の節目となる30年に向け中・長期にわたる活動指針とその具体策について、熟考する日々である。



↑ 来場者全員で記念撮影



会場の様子



あいさつする根岸理事長

With コロナで支援を続けよう

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸恒次

本会は昨年、めでたく創立20周年を祝ったものの、コロナに完敗の年だった。

100年前に大流行した「スペイン風邪」が収束まで3年かかったことを思えば、今回の新型コロナも収束まで、最低でもあと2年はかかるだろうと私は見ている。

コロナ禍に至るまでの20年間、何ら制約なくカンボジアを訪問していた。

会員の皆様を現地にお連れするツアーを含め6回以上訪問していたが、もはや叶わぬ夢となった。コロナウイルスの侵入を防ぐため、各国が鎖国に近い出入国規制を敷いたためである。会員の皆様を現地にお連れできるのは、まだ先にな

りそうだ。一方で、本会の活動を野放しにしておく訳にもいかないため、厳しい入国規制の中、昨年は2度カンボジアを訪問することができた。今年も後半に訪問を予定しているが、これからは不経済な短期滞在から長期滞在に切り替えるなどして支援態勢を見直し、活動の輪を繋いでいくつもりだ。

りそうだ。

特に、学校の校舎や井戸、遊具、トイレなどの贈呈式は年1回の訪問時に集中させ、今まで通り実施していく。現地に行けなくてもZOOMなど、オンラインで贈呈式に出席することもできるようになった。

オンラインによる里子訪問も薦めたい。当面現地訪問が難しいた

め、ZOOMなどのツールを駆使し、日本にいながら現地で暮らす里子と会話し交流する方法。ZOOMが苦手な方にはLINEやFACEBOOKでも可能。

里子にプレゼントや手紙を出したい里親会員のためには、現物を持つことが事実上不可能になったため、海外送金による現地購入を推奨、里子への手紙もメールで送る方式に、既に切り替えた。現地ではスタッフが隔月に里子を訪問しているの、会員の皆様の手足になり動いてくれるはずだ。

コロナ禍によりカンボジアの経済は大打撃を被っている。特に観光業界は全滅に近い。日本のように内部需要が多い国は鎖国しても食

ていけるが、カンボジアは外国から人が来なくなると食べていけない国だ。特に僻村で暮らす人々や子どもたちへの影響が大きい。

中国からの援助が目立っているが、それには見返りを求める裏がある。私たちの支援は、国も民間も裏を求めない。それが日本モデルである。



カンボジアの子どもたちをサポートしてください

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

例えば76年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。



里親さんありがとう

【教育里親会費】 子ども1人につき 1年間3万円。

- ・内訳
 - 子どもへ直接支援する額=12,600円(42%)
 - 年会費(会の運営に回す額)=17,400円(58%)
- ・子どもへの直接支援額を高めるよう努力しております。
- ・一括納入、分割納入(毎月、年2回)のどちらも可。
- ・所定の郵便振替用紙を使いお振込みください。

【支援する期間】 ・少なくとも子どもが学校を卒業するまでの間、支援して頂けたら幸いです。やむを得ず子どもが中退する場合もありますが、その際は別な子どもの支援をお願い申し上げます。

【子どもとの交流】 ・子どもからは概ね6ヶ月に1度、近況を報告する手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。
・里親から手紙、プレゼントを届けることができます。(子どもから写真とお礼の手紙が届きます)
・年3回実施の「里子訪問の旅」に参加し、里子に会うこともできます。

Facebookに本会の活動を随時投稿しています

現地スタッフからのカンボジアレポート

スレイニッチ

カンボジアはコロナも落ち着き、街にもぎやかになってきました。学校では1月11日に新学期が始まり、生徒たちは元気に通学しています。授業時間は午前が7時～11時、午後が1時～5時で、学校が終わってから塾に通う子どもがたくさんいます。しかし、大学はまだオンライン授業を行っています。



教育支援をお願いします!

「クメール教育里親基金」では、教育支援を希望するカンボジアの子どもたちを会報紙面で紹介いたします。支援してください。まずは、子どもの名前を添えて事務局までご一報ください。(先に里親が確定する場合がありますので、ご承知ください) また、既に里子をお持ちの方も歓迎いたします。顔の見えるマン・ツィ・マンの教育支援です。

☎03・3991・2854
FAX 03・3557・1213

ポー・ボルリーちゃん (女の子)



プレイチュム小学校 5年生 (11歳)

- 父親離婚し母親のみ。兄がいる。現在母親、兄と暮らす。
- 好きなこと=本を読むこと。
- 学校まで徒歩で10分。

ブーン・キムハイちゃん (女の子)



プレイチュム小学校 5年生 (11歳)

- 父親離婚し母親のみ。兄と姉がいる。現在母親、兄弟と暮らす。
- 好きなこと=絵を描くこと。
- 学校まで徒歩で15分。

ヴォン・ラヌット君 (男の子)



プレイチュム小学校 2年生 (8歳)

- 家族構成=父親離婚し母親のみ。姉がいる。現在母親、姉と暮らす。
- 好きなこと=サッカーをすること。
- 学校まで徒歩で8分。

サウ・プーディン君 (男の子)



プレイチュム小学校 3年生 (9歳)

- 家族構成=父親離婚し母親のみ。兄弟はいない。現在母親と暮らす。
- 好きなこと=サッカーをすること。
- 学校まで徒歩で8分。

ヤーン・スレイモムちゃん (女の子)



プレイチュム小学校 4年生 (11歳)

- 家族構成=父親離婚し母親のみ。兄と姉がいる。現在母親、兄弟と暮らす。
- 好きなこと=本を読むこと。
- 学校まで徒歩で20分。

投稿 6人乗りバイク!

青木貴之(プノンペン在住、会社員)

写真は、子どもたちを学校へ迎えに来た女性です。6人乗りは珍しいので、撮らせていただきました。

このバイクはHONDAのdream125です。スーパーカブ系(セミアウトマ)の最上位機種になり、新車で2000ドルぐらいになります。燃費が良く、遠出すると私の計測で80km/Lを記録しました。

タイヤが細く接地面積が小さいので、速くて燃費が良い反面、滑りやすいという弱点もあります。耐久、メンテナンス、経済性に優れた最強の業務用バイクと言えます。

しかし、3人乗りでも重さに耐えられずチェーンが伸びたり、制動力が足らなかつたりと、不具合はあります。大人4人乗りをしている人も見かけますが、それは限界を超えており安全性、耐久性に大きな問題があります。

トクトクにも良く使用されます。リヤカーを引っ張り大きな力を使うわりに速度が出ず、風が当たらないため、オーバーヒートを起こします。対策として水タンクを積み、点滴のホースを使い少しずつエンジンに水をかけて冷やします。

バイクがかわいそう



カンボジアに来た当初はHONDAのバイクは強い!と日本の誇りに思ったりするのですが、ちょっとバイクが可愛そうに感じます。

そしてバイクは人を乗せるものですので、正しい使用とメンテナンスをして欲しいと願います。



学校に集まった里子たちと

当時成田空港では、感染拡大していないカンボジアを含む国(主にアジア)からの入国者には、書類審査だけにとどまった。28日の夕方頃には自宅に着き、14日間の自主隔離生活に入った。公共交通機関の利用を避け、人に会うことも避けたが、近所への買い物や通院、散歩は許容範囲。

カンボジアでは、私が帰国した11月28日にプノンペン市内で市中感染が広がり、12月以降の入国者は特別なく2週間、ホテルでの強制隔離になり、現在も継続中だ。

日本でもその後感染者数が激増、海外からの入国者全てが空港でのPCR検査を義務付けられ、出発地で発行された陰性証明書の携帯が義務化された。

11月1日に出発して28日に帰国するまで、私にとり初体験ばかりの貴重な4週間だった。これを糧に、2021年からの活動に本腰を入れ歩んでいきたい。(完)

▼カンボジア訪問顛末記(2) 根岸恒次(法人理事長)

昨年11月1日〜28日、新型コロナウイルス予防のため厳しい入国規制を敷くカンボジアを訪ねました。その様子を2回にわたり連載、今回は最後になります。今後渡航される方の参考になれば幸いです。

晴れて自由の身となった11月16日から帰国日の27日まで、残る滞在日数は12日間、考えたら不経済な滞在になった。入国規制の中では、渡航はせいぜい2回が限度と思われるため、最低でも2か月間は滞在しないと、もたが取れない。次回の参考に。

11月16日〜27日の間、溜まっていた会務を一気にこなし、小学校校舎の贈呈式(4校)、井戸の贈呈式(4校)、遊具の贈呈式(5校)、トイレ棟の贈呈式(1校)、里子訪問(約40人)、学校訪問(1校)、9月に閉園した「夢ホーム」の、その後のチェック、現地スタッフや建設会社、カンボジア在住日本人とのミーティングや会食、帰国後に作成する本会会報の取材(2号分)等々、目まぐるしい日々を過ごした。

11月27日深夜、プノンペン国際空港から乗り継ぎ地のインチョン国際空港に向け出発した。帰国及び乗り継ぎ地での手続きは全く問題なく、翌日のお昼頃には成田空港に着いた。

当時成田空港では、感染拡大していないカンボジアを含む国(主にアジア)からの入国者には、書類審査だけにとどまった。



水牛

■水牛のモニユメント

モンドルキリ県のロータリーに、水牛のモニユメントがあった。地方では労働力として水牛を飼う農家が多いそうだ。立派な角が自慢。



すっぽん

■巨大すっぽん

コンボンブルー県のお寺の池に、巨大なすっぽんが棲息しているとのこと。早速写真を撮りに行った。体長は1メートルあるだろう。食べたら美味しいと日本人の感覚だが、お寺の池に棲んでいるため、誰も取りに来ないそうだ。

■時間との勝負

カンボジアでは、氷を切り売りにする業者をよく見かける。日中は猛暑になるので、あつという間に溶けてしまう。のこぎりで切る間にも溶けていく。値段は10キロで30円位。



氷屋



■おやつに「あげバナナ」

カンボジアのお菓子「あげバナナ」はバナナの天ぷら。バナナが豊富にあるカンボジアはバナナ料理が多い。温かいうちに食べることも美味しい。値段は一つ20円程度。

ウオッチカンボジア

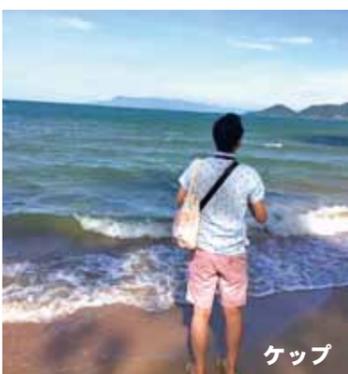
手洗い



■手洗いは世界共通の予防策

新学期が始まり、学校に来ると生徒たちはまず手を洗い、帰宅する前にも手を洗う。コロナが去っても、せっかくなにか身についた良い習慣を大事にしてほしい。

カンボジア最大のリゾート「シハヌークビル」が中国化した今、第2のリゾートとして「ケップ」が人気だ。



ケップ

里子へのプレゼントは 随時受け付けています

- コロナウイルスの感染拡大により、カンボジアへの渡航が難しくなりました。しかし、海外送金は問題なく可能ですので、当面は皆様から送って頂いたプレゼント代金を現地の本会銀行口座に送り、現地スタッフがプレゼントをお届け致します。里子からのお礼状(写真付き)もメールで送ってまいります。
- 事務局に届いた里子プレゼント(品物)につきましては、カンボジアへの渡航が可能になりましたら、空港から持参させていただきます。暫くお時間を頂きますので、この時期品物を避け、なるべく現金をお送りください。(手紙はメールで、現地に送ります)

現地購入(プレゼント代を振込票にてご送金ください)

・自転車(中古品)	7,500円
・お米(50キロ入り)	4,500円
・通学用かばん	3,000円
・ティシャツ2枚&サンダルセット	2,000円
・本(絵本2冊・中学生以上は英語辞書1冊)	1,000円
・お菓子セット(お菓子の詰め合わせ)	1,000円
・文房具セット(ノート、筆記用具等)	1,000円

※上記の代金は、現地での物品調達や里子へ届けるための車代等の諸経費として、原価に20%を上乗せしております。
※里親様が現地に行き、里子にプレゼントを直接届ける場合は、原価での購入になります。

里子への教育支援金を 隔月に届けています

本会のカンボジア事務所では現地スタッフが、教育里子が通学する小学校(27校)を隔月に訪問、教育里親様より頂戴した年会費(1人の里子につき3万円)の中から、42%に当たる12,600円を6回に分け、米ドルに換金して届けている。

中学校、高等学校に通う教育里子も出身校の小学校に集まり、支援金を受け取っている。1月下旬に12月と1月分を、現地スタッフが各学校を回り届けた。新学期が1月11日に始まり、学校がにぎやかになってきた。



元気に通学



支援金を届けました

この態勢が続くと思われる。コロナの影響でカンボジア経済が打撃を受けていて、貧困家庭の子どもたちは生活が増えつつある。とても大きな問題なので推移を見守るしか術がなく、手をこまねいているのが実情。(根岸記)

クメール教育里親基金活動レポート

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親をなくしたり、親がいても貧しい家庭環境にあるカンボジアの子どもたちが安心して学ぶことができるよう、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約300人の子どもたちを教育支援している。カンボジアでは、新型コロナウイルスの感染者数は累計でも千人を下回っており、国を挙げての防疫態勢が功を奏している。1月11日からは待望の新学期が全国一斉に始まり、子どもたちは元気に通学している。

カンボジア・フェスティバル 9月25日~26日開催

毎年東京の「代々木公園」で開催していた「カンボジア・フェスティバル」ですが、昨年はコロナの影響を受けて中止になりました。今年9月25日(土)~26日(日)、東京の「芝公園」での開催が確定しました。コロナの影響で突然中止になる可能性もゼロではありませんが、詳細は次の会報でお知らせいたします。久しぶりのイベントですので、皆様ぜひご参加ください。

昨年校舎が完成した4つの 小学校で新学期始まる

北原三由美様の資金協力により昨年校舎が完成した4つの小学校でも1月に新学期が始まり、生徒たちの元気な声が教室に響いた。新しい校舎で、新鮮な気持ちで学べる喜びを感じているようだ。



春さんのカンボジアレポート ~シエムリアップの道路工事~

武漢コロナ禍のカンボジアのシエムリアップは、市内至る所で工事中です。主要な道路は大々的に掘り起こされ、排水管の埋設と合わせて道幅拡張をしています。これで工事終了後には、大雨が来ても大丈夫でしょう!

この工事はフンセン首相の肝いりで、JICA(国際協力機構)の支援で、予算250億円との事です。観光業者が失業状態ですので、失業対策でもあります。

この道路拡張で住民は自分の土地を減らされても、何の補償もありません。泣き寝入りです。幅で塀が掛かったら取り壊されて、作り直しは自己負担です。我が家も1メートル減らされ、塀の作り直しを自腹でしました。建屋本体に掛かったら大変です。

道路に面した店舗は、問答無用で休業させられています。観光客が居ないからこそ出来る工事で、コロナ収束後の外国人観光客を迎える準備です。

工事現場での交通規制はほとんどありません。バイクが通れそうならば、動いている重機の傍らを走り抜けます。かく言う私も做っています。



里親会員 鈴木春男(カンボジア・シエムリアップ在住)

2019年の 国勢調査結果を公表

2019年のカンボジア国勢調査結果が公表された。

カンボジアの総人口は1555万2221人で、前回調査(2008年)から220万人増加した。

内訳は男性757万1837人(48.7%)、女性798万374人(51.3%)。地域別ではプノンペンの人口が212万9371人と最大で、最小はケップ州の4万1792人。

若年人口(0~14歳)は33.0%、29.4%に減少し、中年の人口(15~59歳)は60.0%から61.7%に微増、高齢者(60歳以上)は6.3%から8.9%に増加した。

女性1人当たりの出生率は2.7人から2.5人に減少。(ちなみに日本の出生率は1.42人)

乳児死亡率は(1歳未満)出生1000人当たり26人から18人に減少。(日本の2019年の乳児死亡率は1.9人)

プノンペンの繁華街で銃撃に より3人死亡

2月11日、プノンペンのセンソック区にある携帯ショップの前で、トゥクトゥクと車のドライバー同士のささいな口論が原因で3人が銃撃され、死亡した。カンボジアでは銃の所持が禁止されているが、護身用に所持している者がいるようだ。



中国が新型コロナウイルス 60万回分を無償提供

2月7日、中国からシノファーム社製の新型コロナウイルス60万回分がプノンペン国際空港に到着した。ワクチンの接種対象は18~59歳、早速10日から接種が開始された。

接種第一号は、フンセン首相の長男、Hun Mameit氏(カンボジア国軍参謀長)。

なお、インドからも10万回分のワクチン供与が確定している。

新シエムリアップ国際空港 の建設も順調に

2020年に着工した新シエムリアップ国際空港の建設は、コロナウイルスの影響を受けずに、2023年計画通りに完成する見込み。今年末までに67%の完成を目指すという。

カンボジア初の高速道路、 建設工事が進む

2019年に開始されたプノンペン・シアヌークビル間の高速道路建設は順調に進み、現在30%が終了、2023年中に完成する見込みという。総延長は190キロに及ぶが、並行する国道4号線に比べて約50キロ短い。国道4号線の渋滞がひどく、5~6時間かかることもあるが、高速道路が完成すれば約2時間半で通行可能となる。建設工事は中国政府系の現地法人が受託、総工費は19億ドル。



活動に参加しませんか

正会員として

- 教育里親会員(年額3万円)
子どもたちへ直接払う年額
1万2千6百円(42%)
会の運営に回す年額
1万7千4百円(58%)
- 個人会員(年額5千円)
- 団体会員(年額1万円)

寄付金

当会の活動に賛同いただける方からの寄付金も受付しております。
* * * * *
会費・寄付金の送付は、銀行振込、郵便振替、現金書留で。

【口座名】
21世紀のカンボジアを支援する会

【ゆうちょ銀行】
019支店 当座 01600916

【りそな銀行】
練馬支店 普通 40988235

●ゆうちょ銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご連絡ください。

●会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。

本会の会員状況をお知らせいたします

(2021年2月末日現在)

●教育里親会員	233名
●個人会員	93名
●団体会員	9団体
●寄付協力者(単発)	54名
合計	389名

書き損じハガキ・未使用切手

・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手やビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ぜひ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。



コロナとカンボジア

カンボジア国内のコロナ陽性者総数は、3月10日現在で約1,000人、うち、治癒者総数が約800人となっている。

プノンペンでは、昨年11月28日に市中感染が発生した後、しばらく平穏な日々が続いていたが、2月20日、再び大規模な市中感染が発生、陽性者は3月10日までに500人に達した。さらに増える見込み。

感染源は、入国後「ソカーホテル」で隔離を行っていて、同ホテルの警備員に賄賂を支払い脱走した外国人女性(4人)とみている。賄賂を受け取った警備員も感染したとのこと。

カンボジア保健省では、感染者が立ち寄ったとされる場所23カ所を公表し、注意を促している。

この影響で、プノンペン市内の47カ所が封鎖され、市民生活に支障が出始めている。



PCR検査を受ける人たち

1月11日から新学期がスタートした公立小・中・高校は、今の所休校することなく、生徒たちは元気に通学している。

一方、中国がカンボジアに対し、シノファーム社製のワクチン60万回分を無償提供、2月7日に第1便が到着した。2月10日からはワクチン接種が始まり、感染予防に期待がかかっている。

日本は今までの緊急援助に加え、約2億2700万ドルの融資も行う予定。残念ながらこうした援助は派手な中国支援にかき消され、「縁の下の力持ち」的な存在になっている。

事務局便り

カンボジアは相変わらず厳しい入国規制を敷いており、入国するには2千ドル(21万円)の保証金支払い、ホテルでの2週間強制隔離、陰性証明書含む3度のPCR検査、90ドルかかるコロナ保険加入と、気の遠くなるような制限が課せられています。通常に入国できる日まで待つのが賢明と思われれます。感染の終息を祈るばかりです。

これから当分は、オンラインによる現地活動になります。里子訪問もオンラインで行う準備を進めております。ご希望の方は事務局にお問い合わせください。

今年9月に「カンボジア・フェスティバル」が都内で行われる予定です。詳細が分かり次第、会報にてお知らせいたします。久々にお会いできますこと、楽しみにしております。

昨年12月12日開催の「創立20周年記念祝賀会」の出席者の中から、3名の方が感想文を寄せてくれましたので紹介いたします。ご協力ありがとうございました。

創立20周年記念祝賀会に参加して

誇り高い男

今紀子

20周年、心からお祝い申し上げます。20年よりずっと前から、カンボジアに通っていたらうと推察いたします。

ガタコト道はほこりを巻き上げ、汗にまみれた根岸氏は、まさに誇り高い男だったに違いない。

ボランティアツアー第1回目の学校訪問の時、トイレ休憩がありました。青空トイレです。畑に下りながら、地雷を踏んだらどうしようと、ドキドキしながら思ったことが思い出されます。

雨期に入ってサンサン降りが続く頃、学用品を積んで車でいったのですが、池のような水たまりを前に私たちの車は、立ち往生してしまっただけです。

校長先生が牛車で学用品を受け取りに来てくださったのも、懐かしい思い出です。

最近はおかなり舗装されていますが、田舎の方に行くとなつぱり、ほこりが舞いあがるのです。

我が根岸さんには、やつぱり誇り高い男が似合うのであります。

私は「おしほり」を携えて、根岸さんの後ろから歩いて参ります。どこまでも、どこまでも。

(東京都在住、会員)

これからも役に立ちたい!

田中房子

私が初めて会に携わったのは、20年ほど前です。

最初は、理事長が経営しておられた会社の事務員だったのですが、会社と同じ事務所でしたので、電話の応対などを手伝っているうちにカンボジアの仕事にも携わるようになりました。

里子からの手紙を里親さんに郵送したり、里親さんからのプレゼントを里子に届ける手続きをしたり、会員さんや学校などから送られてくる文房具の整理を手伝いました。亡くなった山口信正さんとは、当時所沢市内に借りていたコンテナ倉庫まで、整理が済んだ文房具を車で運んだり、イベント準備のため朝早くから出掛けたことが、懐かしく思い出されます。

カンボジアへの興味が増したのは、実際に現地に行き、子どもたちとふれ合ったり、現地の生活を見て貧しさを実感してからでした。写真展などのイベントに来られた方から、日本だって貧しい子どもたちが沢山いるのに、どうして外国の子どもたちの面倒を見る必要があるのか?とお叱りを頂いたことも、しばしばありました。

しかし、日本の子どもたちはカンボジアの子どもたちと比べて、まだまだ守られています。

川の水を飲んだり、裸足でサッカーをしたり、牛の世話や畑の仕事をしなから、学校に行っています。皆さんの少しの思いやりが、子どもたちの未来に役立つことでしょう。

これからも、何らかの形で役に立てると幸いです。

(東京都在住、会員)

当会20年間の歩み映像を作成して

佐々木英介

「記念式典で、会員の皆さんへ写真を見ていただきながら活動報告をしたいのですが、そのスライドショーを作成してくれませんか?」

と理事長から頼まれたのが、昨年の11月頃。式典開催予定の4月までの間に、少しずつ手を加えながら完成させ

ましたが、その式典は延期となり、結局昨年12月に「20周年記念祝賀会」という形で行われ、そこで披露されることとなりました。

私自身、当会に関わりだしたのが数年前です。カンボジアに関する知識も浅かったのですが、このスライドショーを作成するにあたり、カンボジアの歴史やその背景を改めて調べ直したことから、今後当会が行うべき支援の形などが自分なりに見えてきたように感じます。

その意味でも、この作成に関わらせていただいたことは、自分にとって価値あることだったと言えます。そのスライドショーは、近々当会ホームページ

《http://www.aac21.net/》にも載せられる予定です。先の記事でご参加できなかった方々もご覧いただけます。

現在、カンボジア情勢は中国の影響を受けて、驚くほどの速度で変化し続けています。デジタル技術の活用などに関しては、日本よりも進んでいる部分さえ見かけられます。

カンボジア紙幣に日本の国旗が記されているように、以前の日本はカンボジアにとって親密な国でしたが、今ではすっかり中国にその座を奪われています。

とは言え、農村部に住む人々の生活は時代の変化に翻弄されるだけで、貧しさから脱却できそうな光は見えてきません。

私達に大切なことは、表面的な変化に惑わされることなく、そのような人々の存在を見失わないようにすることだと思われれます。

私達への救いを求める声がある限り、私達もそれに応じ続けていきたいものです。(東京都在住、会員)